

Planet-C による金星上層大気と電離圏の観測計画

Observation of the upper atmosphere and ionosphere of Venus by Planet-C

阿部 琢美[1], 金星探査計画ワーキンググループ 小山 孝一郎

Takumi Abe[1], Venus Exploration Working Group Koh-Ichiro Oyama

[1] 宇宙研

[1] ISAS

<http://www.ted.isas.ac.jp/~venus/>

2007年に探査機の打ち上げが計画されている Planet-C ミッションでは下層大気の観測に加えて、上層大気と電離圏に関する観測も行なうよう議論がなされている。金星の上層大気・電離圏は過去に探査機によって幾多の直接観測がなされたにもかかわらず、数多くの謎に包まれているが、この計画で解明を目指す研究テーマのひとつは惑星大気散逸の問題である。惑星大気からの粒子散逸現象は、粒子の加速過程に対する興味の外、大気組成の変化を引き起こす現象として注目されてきた。惑星大気の散逸過程のより確かな理解と観測にもとづいた散逸量の正確な推定が、これらの問題の解決・解明のためには重要であろう。本講演では、Planet-C ミッションにおける観測が検討されている、大気散逸現象をはじめとした金星上層大気と電離圏における未解明な現象について、その観測のポイントとアプローチの方法を中心に発表を行なう。